

# 竹田市地域再生計画

## 1 地域再生計画の名称

竹田市「生き生き興起雇用創出の増大」

## 2 地域再生計画の作成主体の名称

大分県竹田市

## 3 地域再生計画の区域

竹田市の全域

## 4 地域再生計画の目標

竹田市は大分県の南西部に位置し、熊本県と宮崎県に接している。周囲をくじゅう連山、阿蘇外輪山、祖母傾連山という九州を代表する山々に囲まれ、大分県一の河川「大野川」を有する自然豊かなまちである。

平成17年4月1日に、竹田市、荻町、久住町及び直入町の1市3町が合併し、新「竹田市」が誕生した。中心市街地では、瀧廉太郎の名曲「荒城の月」で有名な岡城趾など、岡藩七万石の城下町として栄えた情景が今なお情緒を漂わせている。また、周辺地域の自然景観や豊かな水環境、高原のパノラマ、炭酸泉をはじめ豊かな温泉資源など、市全域が数多くの魅力的で個性的な地域資源を有している。

合併によって総面積は477.59km<sup>2</sup>、人口は26,534人となったが、平成22年国勢調査（速報値）による人口は24,361人となり、人口は20年前の約3/4、高齢化率も39.3%（平成23年3月住民基本台帳）と全国に先駆けた超高齢社会に突入するなど、急速な過疎・高齢化が進んでいる。過疎化の進行による人口減少、近年の地域間格差による景気回復の遅れなど、地域経済は未だ停滞し続け、地域内の事業所数や従業者数は減少の一途をたどっている。

竹田市における少子高齢化の急速な進行は、地域力の低下を招く要因となっている。地域福祉に関しては、介護が必要な高齢者への支援はもちろん、高齢者の健康づくりや介護予防を目的とした施策を、保健・医療・福祉の各公的サービスを相互に連携させながら推進していく必要がある。今後は、増え続ける高齢者への対応として、介護保険制度などの公的サービス以外のサービス拡充が必要であり、様々なニーズに応じた多様なサービスを提供する担い手の育成が求められている。一方、高齢化が進む中、貴重な人的地域資源として、豊富な知識や経験を有する元気な高齢者も増加しており、「高齢者が地域に必要とされ、生きがいを感じることができる」新たな仕組みづくりによる竹田ならではの雇用の創出を図ることや、それらが自立し継続していくための拠点形成及びネットワークづくりなど包括的な取り組みを目指す。

急速な高齢化の進展や医療技術の高度化等で年々増加している医療費は、特に

高齢になると生活習慣病を抱える人が増え、医療費増の要因となり、竹田市の国民健康保険事業は逼迫する事態となっている。また、介護保険事業でも、高齢化に伴い年々介護給付費が増え続けている。医療・介護保険制度が健全に運営されるためには、市民の健康づくりや介護予防が緊急の課題となっているが、これらを推進していくための人材育成や仕組みづくりを目指す。

また、平成22年度策定の新エネルギービジョン及びバイオマスタウン構想に基づく、竹のたい肥化・飼料化プロジェクトなど実証実験的に取り組まれたプロジェクトの中から、その結果を踏まえ実現可能なプロジェクトを選定し、民間事業者のノウハウを導入することで、新たな仕組みを構築し規模拡大による雇用創出や起業支援を図り、新分野での産業の確立に発展していくため、今後市全体での取り組みに向けた施策構築や必要な人材育成を目指す。

以上のとおり、竹田市が抱える重要課題や雇用の動向を踏まえて、竹田ならではの雇用の創造を推進し、地域経済の活性化を目指す。地域再生にあたっては、①健康づくり分野、②地域福祉・介護分野、③環境・エネルギー分野の3分野での重点的な取り組みを推進していく。

さらに、竹田市では、「地域力」「人間力」「経営力」「行政力」を結集した近未来的な政策展開を取りまとめた「竹田市新生ビジョン」を策定し、こうした地域課題を克服し、自治体独自の政策をもって切り拓く政策マニュアルと位置づけている。地域再生計画に掲げる重点施策を基軸に、各戦略をトータルコーディネートしながら、全国トップレベルの高齢化社会に挑戦し、地域の雇用創造を推進する。

◎雇用創出目標（年度別アウトカム想定）

単位：人

区 分		H 2 3	H 2 4	H 2 5	合 計
人材育成メニュー	常 雇	1 6	2 2	3 3	7 1
	常雇以外	7	1 8	2 4	4 9
	創業者	3	5	7	1 5
	小 計	2 6	4 5	6 4	1 3 5
就職促進メニュー	常 雇	1 2	1 4	1 7	4 3
	常雇以外	4	7	1 0	2 1
	創業者	1	2	3	6
	小 計	1 7	2 3	3 0	7 0
アウトカム想定	常 雇	2 8	3 6	5 0	1 1 4
	常雇以外	1 1	2 5	3 4	7 0
	創業者	4	7	1 0	2 1
合 計		4 3	6 8	9 4	2 0 5

## 5 目標を達成するために行う事業

### 5-1 全体の概要

#### ① 健康づくり分野での雇用確保

健康づくりの分野では、生活習慣病を予防する視点から栄養、運動、心の健康等

生涯を通じた総合的な健康づくりの推進が求められている。本事業の人材育成事業により、総合的に健康増進を図るための健康運動インストラクター等の業種において、雇用機会の創出を図る。

また、竹田市は、良質な炭酸泉を湧出する長湯温泉のほか、奥豊後温泉郷として個性豊かな温泉を有し、多くの人に親しまれている。各地域の温泉施設を資源として有効活用していくために、保養の場やコミュニティ形成の場としての活用のほか、今後は病院や保養施設と温泉との連携も検討している。さらに、温泉を活かした療養保養のシステム導入を目指しており、これらの進展と共にその受け皿となるソフト面の環境整備、即ち人材育成が必要である。温泉セラピー（療法）や食事セラピー（療法）、自然セラピー（療法）などの「温泉療養保養ガイド」等を推進するための人材を育成し、温泉を活かした健康運動インストラクター等の業種の雇用拡大を図るとともに、ヘルスツーリズムの推進により、宿泊業や温泉施設、療術業などでの雇用の創出も目指す。

## ② 地域福祉・介護分野での雇用確保

全国的にも著しい高齢化が進む中、竹田市の高齢化率は約40%で、さらに高齢者の約20%がひとり暮らしとなっている。遊休公共施設や空き店舗などを活用した集いの場の提供や地域での声かけなど、高齢者を地域全体で支える体制づくりの構築が求められている。一方で、高齢にもかかわらず就労意欲が旺盛で活動的な高齢者も多く、これまで培ってきた経験や知識を人的地域資源と位置づけ、その活用の場を提供していくことが高齢者の生きがいがいづくりにつながり、次代への貴重な架け橋となっていくものと言える。

行政やボランティアで実施することのできない支援や支え合う仕組みづくりを構築し、これを主導的に担う人材育成や有償サービス制度の導入等により、高齢者が生き生きと参画できる竹田ならではの長寿を活かしたまちづくり、高齢者に優しい地域づくりによる雇用の創出や起業を目指す。

## ③ 環境・エネルギー分野での雇用確保

竹田市では、平成22年度にバイオマスタウン構想を策定し、地域資源を活かしたエネルギーや素材の供給などの新たな取り組みを模索している。地域の特性、生産性、実現性等を勘案し、導入効果の高いプロジェクトにより、官民一体となった事業の推進を図ることとしている。中でも、BDF（廃食用油活用プロジェクト）については、家庭や事業所からの廃食用油を分別回収して燃料化することにより、廃棄物の減量化と有効活用を目指すもので、商店街との連携や生協の協力など小規模ではあるが既に実践されている。この仕組みを全市的に普及させ事業の拡大を図り、新たな産業としての確立と雇用創出を目指す。また、竹のたい肥化・飼料化プロジェクトでは、里山保全を目的に竹資源の活用を推進し、美しい里山景観を守るため、竹林の竹を計画的に伐採し管理する仕組みづくりを検討し、伐採した竹の竹炭化や、粉碎化してたい肥や粉末発酵飼料として活用することなどに取り組む。これらの活動を継続、発展させるために、ボランティアのみではなく、産業として確立するための人材育成や仕組みづくりを行い雇用創出を目指す。

## 5-2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業

該当無し

## 5-3 その他の事業

### 5-3-1 受けようとする支援措置

地域雇用創造推進事業（パッケージ事業）【B0902】

①実施主体 竹田市経済活性化促進協議会

②構成団体 竹田商工会議所、九州アルプス商工会、竹田市社会福祉協議会、NPO法人竹田市観光ツーリズム協会、NPO法人里山保全竹活用百人会、竹田市農村回帰支援センター、竹田市

③実施を希望する期間 平成23年度～平成25年度

#### ④行おうとする主な事業

竹田市は、平成17年に旧竹田市、直入郡荻町、久住町、直入町の1市3町が市町合併し竹田市となった。著しい人口減少と高齢化率の上昇により、昭和45年以降、過疎地域の指定を受けている。

そこで、現在竹田市が抱える大きな課題の解決の柱として「超高齢社会への挑戦！」という意識づけのもと、「健康づくり分野」、「地域福祉・介護分野」、「環境・エネルギー分野」を重点分野とし、日常生活に密着した諸課題の中から雇用創出を図る「生き生き興起雇用創出大作戦！」と称して事業を展開する。超高齢社会の当市において人口の約40%の高齢者を含め、自らが生きがいとして働く場所を創出し、地域が連携して支えていく仕組みを構築することで、次世代につなぐ竹田ならではの地域内発型の雇用の創出や起業支援を図る。また、この地域雇用創出の仕組みを地域内に定着させることで、地域雇用機会の創出を効果的かつ持続的に促進する。

#### (1) 雇用拡大メニュー

竹田市の健康づくり分野や地域福祉・介護分野、環境・エネルギーの分野において、当事業の趣旨を理解し協力して超高齢社会に挑戦していく意欲のある企業に対し、企画力や経営体質の強化など学習の機会を提供することにより、事業の安定経営や規模拡大による雇用の創出を図る。

##### ア 健康づくりのための新たな仕組みによる企業化支援事業

総合的な健康づくりや温泉、食育、自然等地域資源を活かした健康増進のために育成したインストラクターを、積極的に活用するための仕組みづくりに必要なノウハウを研修する。また、温泉利用プログラム型健康増進システム等の導入、産学官連携体制の構築等を図るための研修を実施する。

##### イ 地域のニーズに合った地域福祉・介護の仕組みによる企業化支援事業

多岐多様な地域福祉・介護に必要なサービスを有償サービス制度導入により、地域住民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるのに必要な中間組織（暮らしのサポートセンター等）の運営に必要なノウハウを研修する。また、CATVを活用した地域福祉の仕組みによる企業化支援や産学官連携体制の構築等を図るための研修を実施する。

## ウ 環境・エネルギー分野における企業化支援事業

竹田市バイオマスタウン構想を基軸に、バイオマスによる産業育成に必要なノウハウを研修する。また、新たなバイオマスによる産業発掘や産学官連携体制の構築等を図るための研修を実施する。

## エ 起業家支援事業

事業が終了した後において、引き続き自立し継続して活動できるためには拠点となる組織の育成が必要となる。NPO法人や企業組合等を対象に起業や事業拡大に必要なノウハウを研修する。また、法人化手続、関係法令の研修、先進事例、経営ノウハウの研修を実施する。

## (2) 人材育成メニュー

### ア 健康づくり（総合的健康増進）に必要な人材育成事業

高齢者のための健康・体力づくりなど健康増進を目的とする新たな分野において、健康づくりのプログラムを安全かつ適切に指導できる人材を育成する事業を実施する。さらに、これらの人材の活動の場や連携を強化するための中核的な人材の養成を目的とする事業を実施する。また、竹田市で進められている温泉を活かした療養保養のシステムに必要とされる温泉入浴や食育セラピー、自然セラピーなどのインストラクターを養成し、温泉利用プログラム型健康増進の仕組みを確立する。

### イ 地域福祉・介護に必要な人材育成事業

超高齢社会の竹田市において、地域のそれぞれの課題に対しきめ細やかな地域福祉や介護の支援サービスを行う中間組織の立ち上げと、それに必要な人材の育成を図る。人材育成、雇用の場の創出、NPOなど組織化の推進により、自立し継続できる仕組みを構築する。

暮らしのサポーター等の福祉・サービス業における雇用拡大を図るとともに、担い手等が地域において、自立し継続的に活動できるように、組織化・法人化を図るために必要なノウハウの研修を実施する。

### ウ 環境・エネルギーに必要な人材育成事業

竹田市新エネルギービジョン及びバイオマスタウン構想に基づき、多くの市民が参加できる実践的な活動のしくみを構築し、グリーンジョブの創出を目指し、人材育成と新分野産業での雇用機会の創出を図る。

## (3) 就職促進メニュー

### ア 研修・講習等の情報提供事業

ホームページを通じた魅力ある地域資源の情報発信を通じて、UJIターン就職を喚起し、地域の雇用促進を図る。

### イ UJIターン説明会事業

竹田市農村回帰支援センターと連携し、UJIターン説明会を開催し、求人求職のマッチングを通じた就業機会の拡大と充実を行い、雇用拡大を図る。

### ウ 就職セミナー&合同企業面接会事業

セミナー及び面接会を実施することにより、求人求職のマッチングを通じた就業機会の拡大と充実を行い、雇用拡大を図る。

### 5-3-2 地域雇用開発の促進に資する市町村の取組

#### (1) 竹田総合学院（TSG）事業

農村商社わかば、農村回帰宣言、エコミュージアム構想等と連携し、竹田に埋もれた歴史・文化資源の再発見と、竹田に根付いた人材育成・起業・就労支援の2本柱で事業を展開する。

#### (2) 集団健康教育事業

生活習慣病の予防及び介護を要する状態となることの予防、その他健康に関する事項について正しい知識の普及を図るとともに、適切な指導や支援を行うことにより健康増進に努める。

#### (3) 食育推進計画策定事業

総合的な食育の推進のための「食育推進計画」に基づき、地域における「食」を活かした食育推進を明確にする。

#### (4) 在宅介護支援事業

在宅サービスや施設入所のための情報が必要な高齢者やその家族に対し、ニーズに沿った保険・サービスが享受できるよう各機関との連絡調整を行い、高齢者福祉の向上を図る。

#### (5) 地域エネルギービジョン等策定事業

地域におけるエネルギー資源の開発と確保を目指し、新エネルギービジョンに基づき、今後の重点テーマ並びに推進体制の検討を実施する。

#### (6) ケーブルネットワーク施設整備事業

情報化が急速に進展する中で、全ての市民が等しく情報通信社会の恩恵を受けられるようにするため、ケーブルネットワーク網を整備し、サービスの提供を図る。

#### (7) ニューツーリズム着地型旅行商品の造成推進事業

健康をテーマとした様々な体験型プログラムを構築し、竹田市が計画している独自施策「温泉療養保健システム」の実証実験としてモニターツアーを実施する。

## 6 計画期間

認定の日から平成33年3月まで

## 7 目標達成状況に係る評価に関する事項

4に示す地域再生計画の目標については、竹田市の関係部局や協議会において毎年必要な調査を行い状況を把握するとともに、達成状況の評価や改善すべき事項の検討を行なうこととする。

## 8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当無し